

課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	H16.7.13	環境部	廃棄物対策課	計画・指導担当	-	-	-	2環廃01	7

業務名称	一般廃棄物適正処理推進業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	一般廃棄物の排出抑制、再利用、再資源化の推進により、環境負荷の少ない資源が循環する社会を構築することができる。	最終処分量	4,193t	3,589t		
担当業務目的	一般廃棄物の処理計画を定めるとともに、ごみの減量、再資源化を推進する	リサイクル率(資源化量/ごみ総量)	34.4%	35.4%	7.8	18,846

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
01 一般廃棄物に関する処理計画等の策定を行う				536	<p>【17年度に向けての課題等】 分別収集計画の見直し 容器包装リサイクル法に基づき策定しているが、3年ごとに見直すこととなっており、17年度中に改定する必要がある。</p> <p>一般廃棄物処理基本計画の見直し 廃棄物処理法に基づき策定しており、現在の計画期間は平成13年度からの10年間、概ね5年ごとに見直すこととしており、17年度から改訂作業に着手する必要がある。</p>
ごみ総量	171,032t	160,223t			
一般廃棄物処理実施計画を策定する 一般廃棄物の処理に関する調査を行う 一般廃棄物の分別マニュアルを改訂する 公表資料(清掃事業概要)を作成する	(内訳) 秋田市 164,970t 河辺郡 6,062t	(内訳) 秋田市 155,195t 河辺郡 5,028t			
02 家庭系一般廃棄物の減量と再資源化を推進する				17,217	<p>【17年度に向けての課題等】 家庭系ごみ減量・再資源化の指導等の推進体制強化 平成22年度の減量目標(平成11年度の626^g/人/日から10%以上削減する)を達成するため、家庭系ごみについて排出指導を行うなど、推進体制を強化する必要がある。 「家庭系ごみ分別推進事業(ごみ減量井戸端会議)」の実施</p> <p>古紙の拠点回収システム等の調査・研究 家庭ごみへの混入割合が多い古紙について、再資源化をさらに促進させるため、拠点回収システム等の調査・研究を行う必要がある。</p>
1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(資源化物を除く)	655g	592g			
資源集団回収を実施した団体等に奨励金を交付する 家庭系ごみの排出について、暮らしの伝言板、広報等で啓発を行う	(内訳) 秋田市 650g 河辺郡 736g				

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))			事業費 (千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)		
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)				
03 事業系一般廃棄物の減量と再資源化を推進する			1,093	
事業系のごみ総量(資源化物を除く)	48,985t	44,454t		
事業所等の排出状況の調査・指導を行う 減量・分別・リサイクルに関するPRを行う 一般廃棄物収集運搬許可業者の許可・指導監督を行う				
99 庶務・経理業務				
適正処理率	100%	100%		